

第一商業 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：（A組：小島）（B組：村越）（C組：小島）（D組：村越）（E組：小島）（F組：小島）

使用教科書：（現代の国語（大修館））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①漢字検定4級程度の漢字を正しく読み書きすることができる。 ②話し言葉や話し方を理解している。 ③文章の構成や展開に着目して文章の論理を捉えることができる。	①書き言葉と話し言葉を使い分けて正しく使用することができる。 ②文章の構成や展開を意識して文章を論理的に記述することができる。	①言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりできる。 ②日々の授業の目標に対して真剣に取り組み、目標達成のために継続して努力している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	A 単元「明日をひらく」 【知識及び技能】 相手や目的に応じた語句や文体の使い方を 知る。 【思考力、判断力、表現力等】 相手や目的に応じた語句や文体を正しく使用する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、 学びに向かう姿勢を作る。	・教材「白紙」 ・一人1台端末の活用		○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に、学習課題に沿って、相手や目的に応じた表現の仕方を理解しようとしている。	○	○	○	12
	B 単元「要点をつかむ」 【知識及び技能】 叙述を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章に興味を持ち、文章の要点を捉えようとする。	・教材「水の東西」 ・一人1台端末の活用		○	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点を捉えようとしている。	○	○	○	12
2 学 期	C 単元「論理をとらえる」 【知識及び技能】 叙述を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開を意識して文章を論理的に記述することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりする。	・教材「動的平衡としての生物多様性」 ・一人1台端末の活用		○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に、学習課題に沿って、相手や目的に応じた表現の仕方を理解しようとしている。	○	○	○	10
	D 単元「魅力的に伝える」 【知識及び技能】 話し言葉や話し方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 他者と意見を交換し、アイデアを出し合う。アイデアを整理し、さらに発想を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と積極的に意見を交換し、発想を広げようとする。	・教材「工夫して話す」 ・一人1台端末の活用		○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に、学習課題に沿って、相手や目的に応じた表現の仕方を理解しようとしている。	○	○	○	18

